



2023年9月19日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード8739 東証プライム市場)

「未来創生3号ファンド」量子コンピュータハードウェアスタートアップ[®]

Nanofiber Quantum Technologies, Inc.への投資実行

—圧倒的な拡張性を持ったゲート式量子コンピュータの開発—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生3号ファンド」が、Nanofiber Quantum Technologies, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、代表取締役：廣瀬雅。以下、Nanofiber Quantum Technologies社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。Nanofiber Quantum Technologies社は今回の調達資金を活用し、米国および日本での人材採用を進め、R&Dを加速させます。

■投資先企業の概要

Nanofiber Quantum Technologies社は日本で開発されたナノファイバー共振器 QED (Quantum Electrodynamics, 量子電気力学)方式という、世界で唯一の実装方式を基幹技術としており、従来の実装方式に比べて圧倒的な拡張性を持ったゲート式量子コンピュータの開発・社会実装を目指します。更に、既存方式では実現が困難な、量子コンピュータの量子通信への統合による量子ネットワークの開発・社会実装を目指しています。

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生2号ファンド」および「未来創生3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中心技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2023年8月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,505億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com